



それぞれのブースで、被災地復興への取り組みをパネルなどで展示。担当者が来場者に丁寧に説明をしていた。

ニュース

## 「ピースアクション inヒロシマ」で復興支援活動について報告

### いわて生協、みやぎ生協、コープふくしま

2013年8月4日～6日にかけて、広島県生協連と日本生協連が広島県立総合体育館グリーンアリーナ(広島市)で開催した、平和を願う祭典「2013 ピースアクションinヒロシマ」5日には、被災地生協の復興支援活動を紹介するコーナーが設置され、多くの人が訪れました。

コーナーでは、いわて生協、みやぎ生協、コープふくしまがそれぞれブース

を出展。来場者に、復興支援活動の取り組みや被災地の思いを伝えていました。

コープふくしまのブースでは、東日本大震災、原発事故から2年がたったのを機に158人の組合員が思いをつづた小冊子「明日に向かってII」が配布されました。この冊子は、震災直後の11年7月に発行した「明日に向かって」に引き続き制作されたもので、

コープふくしま生活文化部課長の酒井孝子(たかこ)さんは、「最初に冊子を作ったとき、声には出せなかった思いを言葉にすることができたと話している方がいらっしやいました。福島のままの思いを多くの方に知っていただきたいです」と話していました。冊子には、今後の生活への不安や全国からの支援に感謝する声、ふだんのくらしの大切さに気付いたという声や、人の優しさを感じ福島に残ってよかったと思ったなどといった声などが紹介されています。



「明日に向かってII」は、コープふくしまHPにて、ダウンロード可能です。「コープふくしま」HP内、「トピックス」8月27日更新「今の「この思い」を伝えよう!」をクリック。

ニュース

## 被災された方に代わって 東北復興祈念巡礼を 四国4生協



第一番札所の霊山寺(徳島県鳴門市)にて。ここから巡礼はスタートした。

コープかがわ、とくしま生協、こうち生協、コープえひめの四国4生協では、毎月交代でいわて生協へ各地の銘菓を贈ったり、被災地域を訪問するなど、支援活動に継続的に取り組んでいます。

12年8月からは、4生協で「東北復興祈念四国八十八ヶ所巡礼」に取り組みました。これは、同年7月に4生協が岩手県陸前高田市の仮設住宅で「ふれあいサロン」に参加した際、とくしま生協副理事長の多田道代(たみちよ)さんが、

住民の方から「四国八十八ヶ所にお参りして集めた札が津波で流された」と聞いたことがきっかけでした。組合員で有志を募り、第一番札所がある徳島県から、とくしま生協が巡礼をスタート。その後、こうち生協、コープえひめ、コープかがわへと巡礼のたすきがつなげられました。そして、13年6月のコープかがわの総代会にて、被災地の現状報告のため出席したいいわて生協常務理事の角田信子(かくたのぶこ)さんへ八十八ヶ所を巡って集めた納経帳が託されました。角田常務は、7月に仮設住宅住民の元を訪れ納経帳を贈呈。受け取った方は、「四国の組合員さんにお参りしていただき、とてもありがたい」と見入っていました。また、他の住民らも拝むように手を合わせていた姿が印象的でした。



納経帳に加え、巡礼の様子の写真も一緒に贈呈された。左から2人目が、いわて生協角田常務理事。